ルーテル学院だより NO.156
神学校だより NO.82

Double Number 合併号
2024.6.15

| 発　行 | ルーテル学院大学・日本ルーテル神学校
〒181-0015 東京都三鷹市大沢 3-10-20
TEL: 0422-31-4611　FAX: 0422-33-6405
| 発行人 | 石居 基夫
http://www.luther.ac.jp/

Feature 特集　大学・大学院・神学校

入学式報告　問いかけによって世界を変える

4月2日、ルーテル学院大学・大学院・日本ルーテル神学校の入学式が本学チャペルで行われ、学部生56名、大学院生17名、神学生1名、合計74名（4月2日時点）の新入生を迎えました。

式では、石居基夫学長が説教の中で「イエスは、聖書の時代、人々の生きる苦しさ、悲しみ、痛みといった人間社会の問題を問うように宣教をしました。皆さんも、世界を変えるような問いかけを生きていけるよう学んでいってほしい」と呼びかけました。

式の後、学部新入生の一人は「少人数でアットホームな環境に惹かれて入学しました。公認心理師を目指して勉強したい」と話していました。

入学式に先立ち3月7日には卒業式が行われ、学部生79名、大学院生8名、神学生4名の計91名が卒業しました。

学長挨拶　キリストの心を心とする

学長のメッセージ 動画はこちら

石居 基夫　学長

このルーテル学院の「建学の精神」は、本学の教育と研究、私たちの全てを支え、導くものです。

イエスは、聖書の時代、社会の中で貧しくされた大勢の人々、重い皮膚病を患う人、精神を病む人、障がいを負う人、女性、子ども、また死に直面する方など一人ひとりと出会い、寄り添い、神の恵みを共に生きるように働かれました。同時に、その神の恵みを分かち合うことができず、差別し排除するような社会そのものを深く問いただす働きでもありました。

こうしたイエスの働きは受難の道でもありましたが、そのイエスの心に「共に生きる」実践を生み出す力と歩み続ける希望を受け取ってきた者たちがある。

ルーテル学院はこのキリストの心に基づいて、今、困窮するすべての人々の「いのちと尊厳」を守り、「共に生きる」社会を実現するための教育と研究に取り組んでまいりました。キリストの心に触れ、私たち自身を問い直し、新しい自分と社会を創造していくための学びを続けてきたと思っています。

見渡せば、争いも絶えず、豊かさも便利さも、誰かの生活や多くのいのちを犠牲にしているかのような世界に囲まれて、私たち自身息苦しさにもがいているのかも知れません。しかし、キリストの心は、その私たちに問いかけ、そこからまた立ち上がり、歩み出すように語りかけてくる。

本学の形が大きく変わっていくことになりました。それでも、ルーテルの建学の精神は、この語りかけを聴き続ける私たちのうちに生き続けるものだと思っています。

ルーテル学院大学・大学院は2025年度より学生募集を停止します。24年度入学者を含む在学生が卒業するまでは教育を続けます。日本ルーテル神学校は教育と研究を続けてまいります。

詳細はHPをご覧ください。

ようこそ

新入生へのメッセージ

学生会執行部会長
人間福祉心理学科

4年　本多 春

新入生の皆さん、こんにちは。ご入学おめでとうございます。私たち学生会はサークルを作りたい方、大学で困ったことがある方の相談に乗ることも行っています。もし、相談したいことがある方は一度部室に来てみてください。皆さんの大学生活が実りあるものになるよう願っています。

総合人間学研究科
臨床心理学専攻

2年　西元 さゆり

新入生の皆さん、大学での4年間は長いようで、あっという間です。自分の可能性を信じて、夢や目標に向かって様々なことに挑戦をしてください。そして、学校には頼りになる先輩や優しい先生方がたくさんいますので、何か困ったことがあれば、遠慮なく相談して、ルーテルでの大学生活を楽しんで下さい。応援しています。

2024年度日本ルーテル神学校 神学生の抱負

①出身教会　②実習教会

いつもお祈りありがとうございます

角本 洵　1年

①JELC神水教会
②JELC羽村・八王子教会

教会生活は23年ですが、神学的な知識はまだまだです。まずは神学の基礎を確実に学び、興味のある分野を見つけたいです。学校や実習教会で、若さと元気さを存分に発揮して、神学生としての学びと生活を祈りつつ進めていきたいと思います。どこかでお会いした際には、ぜひお声がけください。

佐藤 孝洋　2年

①NRK札幌中央ルーテル教会
②NRK竹の塚ルーテル教会

皆様のお祈り、お支えのおかげで、2年生に進級することができました。

去年、初めての神学の学びの中では、神学の内容の難しさから、受け止めきれないことも多くありました。今年も召命がより強められるよう、与えられている学びに真摯に向き合い、祈り、力強く進んでいきたいと思います。

澤田 春貴　2年

①NRK飯能ルーテル教会
②NRK鵠沼めぐみルーテル教会

2年生になることが許されました。私個人の力だけでなく、教会に集う皆様の、共に学ぶ仲間たちや先生方の支えがあってこそだと思います。2024年は、昨年とは違った環境で学びと関わりをしていくことになります。そこで顕わにされる自分の弱さを認めつつ、自分の強みを発揮したい所存です。

大和 友子　4年

①JELC大岡山教会
②JELC市ヶ谷教会

昨年度、約半年間の聖パウロ教会での宣教研修は、教会だけではなく付設する施設での牧師としての働きも学ぶことができ、豊かな経験となりました。いよいよ最終学年となり、さらに専門的知識を深め、卒業論文、教師試験に挑みます。厳しい状況の中でも日々祈り、神様の召しに応えていきたいと思います。

Topics トピックス

谷井淳一教授　退任記念感謝会

田副 真美　教授

2月23日、谷井淳一先生の最終講義および退任記念感謝会を開催しました。第一部の最終講義では『私の研究の道のり』というタイトルで、大学教員になるまでの道のりやサイコドラマとの出会いやその研究についてお話しくださいました。

第2部の退任記念感謝会では、名誉教授や修了生から先生のお人柄を表すエピソードや感謝の言葉を伺うことができ、先生の長年のご貢献にふさわしい素晴らしい会でした。

Professors 教員紹介

研究・学外のお仕事　**石川与志也　准教授**

私が現在取り組んでいる研究テーマは二つあります。ひとつは「若者の孤独と孤立」です。心理療法の実践を通して、引きこもりやニートなど社会的に孤立している若者や一見適応しているように見えてもこころの内側では深い孤独を抱えている若者のこころの構造を理解し、彼（女）らが他者との関わりの中で自分自身の生きたこころを体験できるようになる鍵を探求しています。今年ポーランドで行われる学会で発表する予定です。二つ目は、「心理療法におけるユーモア」です。わたしたちは、耐え難いこころの痛みを笑うことで否認することがあります。しかし、笑いにはこころの痛みを否認することなく受容し、自らのこころを自由にするユーモアという形態もあります。心理療法の場におけるユーモアの働きに関心を持って研究をしています。

ロンドンの国際学会中に訪れたフロイト博物館にて